



2学期を振り返って

2学期は始業式で輝桜祭の延期や日程変更を伝えなければならないような、まん延防止措置が発令されている中でのスタートでした。そんな状況の中、最大限の対策をして臨んだ輝桜祭は、まさに「身延中学校の力」を強く感じるものでした。当日には台風も来て、刻々と変化する状況に対応し、全校をリードした生徒会本部はさすがでした。そして身延中学校の表現力の高さも魅せてくれました。それは合唱発表会にもつながるものでした。豊かに表現すること、思いを身体で言葉で伝えること、そしてそれを学校の顔となる3年生がまさに見本となって示してくれたこと。輝桜祭で得た自信や力はもちろん、普段の授業や生活から積み上げてきたものだと思っています。

先日の生徒総会でこれまでも振り返りました。「個性を認め合い、誰にとっても居場所となる環境をつくろう」では、多くは肯定的な評価でしたが、「誰にとっても」とは言いきれない、悪口や陰口が聞こえる、相手を傷つけてしまった、など課題も出ていました。そこで本部から投げかけがありました。「みんなが居やすい環境とは」「みんな居心地のいい環境にしたいのにそうでないようになってしまうのはどうしてか」「個人として意識できること、実際に行動できることはどんなことか」統一した答は出ないかもしれないし、すぐに解決できるものでもないかもしれませんが。でもこうやって、みんなが考えを巡らせ、意見を交流し、少しでも良いものにしたい、よい方向に持っていきたいと思えるように話をすることがまず重要なのだと感じます。

ここ2年間行けなかった広島に来年はきっと行けるでしょう。どんなことを感じてきてくれるのでしょうか。世界中みんなが「平和」な世界を望んでいるのに、なぜ戦争が起きてしまうのだろう。平和って、もしかしたら身近なところからつながっているかもしれません。生徒会を引き継ぐ2年生、1年生が、生徒会スローガンの「つながり」の持つ意味を、これからまた引き継いでくれると期待しています。



家読

3年生に親子で同じ本を読んでもらい、親子それぞれが感じた思いを感想としてみなさんから寄せてもらいました。毎日の仕事や生活の中で、大人は読書に親しむ機会はありません。しかも子どもと同じ本を読んで、お互いどんな思いを持つのか共有できるのはなかなかできないことです。寄せられた感想はどれもステキで、子どもと本の感想を話したり

とても大切な機会になったという声も多くいただきました。図書館だより「ほんのむし」にも紹介されています。



まるで、アラスカに行ったかのような読書でした。特別なオーロラを撮影するためだけに、極寒の地に1ヵ月も滞在するのはとんでもないことだと思いました。それを成し遂げた作者から勇気と感動が伝わってきました。自分も死ぬ気で何か(勉強、スポーツなど)を成し遂げたいです。

読み進めるうちに日本の中では経験できないであろう過酷で壮大な自然の中に自分も身を置いているかのような気持ちがありました。読書は旅をさせてくれます。おそらくは私たち親子は生涯体験することはないであろう出来事ですが、著者の心の動きはそのまま伝わってきます。様々な道を進みつつ、人の求めるものはどこか共通している。思春期の息子も、日常に埋められる私も、自分の心に沿わせて読むことができました。

エジソン「私は一度も失敗したことがない。何万通りものうまくいかない方法を発見しただけなのだ」
「まちがうのははずかしい」「ミスしたらどうしよう」「こんなことできつこない」…失敗は怖いよね。でも発明王エジソンは言った。失敗じゃないんだよね。少し見方を変えたら、少し思いを変えたら、新たなものが見えるかもしれない。

快挙！ 吹奏楽部

県アンサンブルコンテスト

金賞 として

西関東大会出場決定!!



12月19日の県アンサンブルコンテストに参加した打楽器八重奏が見事金賞を獲得し、西関東大会出場も勝ち取りました。本番の発表が本当にかっこよく、引き込まれました。8人のうち多くは普段は管楽器を担当していて、打楽器は専門外です。その中でこのかなり難しい曲を、技術的にももちろん、8人がびたり合わせて表現していくのは、並大抵のことではなかったはず。日々の練習の積み重ねや指導をしてくださった方たちの支えもあり、次のステージに進めたのは大きな自信になります。西関東大会は山梨県の慣れた会場で1月29日に開催されます。より高めた演奏で晴れ舞台に臨んでください。

審査員講評より

8人の息がとてもよく揃っていて、流れのある素晴らしい演奏です。何と言ってもそれぞれが表現しようという気持ちが前面に出ているので、とても説得力があります。

■ 県新人体育大会

野球 ○ 9-3 韮崎西 ● 1-4 山中湖

女子バドミントン 団体 ● 0-2 猿橋

柔道 団体 ● 1-2 忍野

男子バドミントン 団体 ● 1-2 竜王北 個人ダブルス 深沢修平・竹ノ内利徠 3位

男子ソフトテニス 団体 ● 1-2 都留二 個人 森田健太郎・森田孝太郎 ベスト 16

体操 個人総合 前澤颯志 4位

空手 組手団体 ● 0-3 御坂 3決 ● 1-2 竜王

■ 「家庭の日」「青少年を育む日」作品

標語部門 最優秀賞 佐野七葉 優秀賞 幡野彩音・渡辺未空

作文部門 最優秀賞 依田愛里 優秀賞 若林伸之介・望月美希

ポスター部門 最優秀賞 渡邊凰太 優秀賞 松田美音・秋山悠翔

■ 読書感想文コンクール

県特選 熊谷有真 地区入選 望月心羽

■ 火災予防防火ポスターコンクール

最優秀賞 服部準平 入選 小原颯真

■ 税についての作文

優秀賞 近藤心優

■ 鯉沢間税会 税の週間「書道コンクール」

鯉沢税務署長賞 竹内こゆき 早川町長賞 津嶋優那

身延町長賞 松村瑞希 南部町長賞 小松京香

■ 身延町社会福祉協議会 福祉作文・ポスター

ポスター部門 最優秀賞 望月虎太郎 優秀賞 石川菜夢・中込杏果・志村亜希

作文部門 最優秀賞 中村美侑 優秀賞 土橋桜希・山口美夢・渡邊 董

■ 教育祭県下小中学校 図工美術作品展

県特選 遠藤鉄心・篠原佑芽・遠藤爽夏・川口久輝・橋爪千佳・望月杜起・渡邊凰太

■ JA 共済全国書道コンクール山梨県大会

半紙の部 銅賞 竹内こゆき 佳作 服部準平 条幅の部 銅賞 竹内こゆき

■ 県アンサンブルコンテスト

吹奏楽 金賞 打楽器八重奏 西関東大会出場決定！

堀内唯加・篠原佑芽・中 弥博・中込 奏・渡邊未空・望月心羽・粕谷 亘・望月響喜

大会結果・表彰

甲州アルプスオートルートチャレンジ マロニエルートチャレンジ男子の部

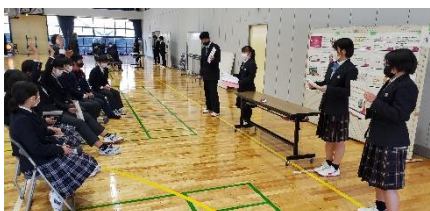
総合5位 佐野文寛先生

高低差 1800m を 30km、山を走る競技。それを4時間ちょっとで…。日頃の鍛錬のたまもの。150名中の5位。素晴らしいです！

キャリアセミナー 身延高校との中高連携の一つ

として、高校1年生が中学2年生に職業について説明してくれました。「産業社会と人間」という教科の中で取り組んできた職業について、様々な調査や職場訪問、インタビューから考えた課題や内容を、クイズや質問コーナーなど、工夫しながら伝えてくれました。「警察官」「アニメーター」「ブライダル」…などから興味のある職業について、3つ選んで聴きました。

これからの進路や将来への意識も少し高まったと思います。



12月10日の山日新聞「ふるさと探訪」で身延町が特集されました。たくさんの身延町の魅力が紹介されましたが、その中で3年生の松田美音さんから『子供の声を反映する町』が町の魅力だと語ってくれました。みんなの願いが届く町ってステキです。修学旅行など含めてこれだけ公費負担で子供の教

育を支えてくれている町はありません。感謝するとともにそれに応えられるように、それぞれの立場で力を尽くしたいです。



15歳
(身延中3年)

松田美音さん（小田船原）
私たちの意見にも耳を傾けてくれるところ。『町の歌』やマスコットキャラクターがほしいと要望を出したら、町はどちらも実現してくれました。給食費も無料で、漢検や数検にも補助金が出ます。子どもたちが過ごしやすい環境をつくってほしいです。

12月10日山梨日日新聞より



週末から冬休みです。年末年始の慌ただしい時期でもあります。やるべきことをしっかりとする中で、家庭での時間を大切にしながら、健康で安全な休みになることを願っています。新年明けて1月11日からの3学期がよいスタートとなるよう、充実した休みにしてください。